

今後のスケジュールについて

令和 8 年度

- 5 月 ・ 公募型プロポーザルの実施について公告・公表
- 6 月 ・ プロポーザルに係る審査会（参加 5 社）、業者決定、契約
（株式会社教育施設研究所東北事務所）
- 8 月 ・ 第 1 回統合準備庁内検討委員会・統合準備委員会の開催
（校舎建設場所の比較検討表の提示）
- 10 月 ・ 広報たなぐらへ取組状況の記事掲載
・ 第 2 回統合準備庁内検討委員会・統合準備委員会の開催
（校舎建設場所の提案、児童生徒・保護者等へのアンケート結果報告）
・ 校舎建設場所の決定
- 11 月 ・ 部会の開催
- 12 月 ・ 第 3 回統合準備庁内検討委員会・統合準備委員会の開催
（基本構想・基本計画の進捗、内容等状況説明）
- 3 月 ・ 第 4 回統合準備庁内検討委員会・統合準備委員会の開催
（基本構想・基本計画の最終説明）

令和 9 年度 ・ 基本設計

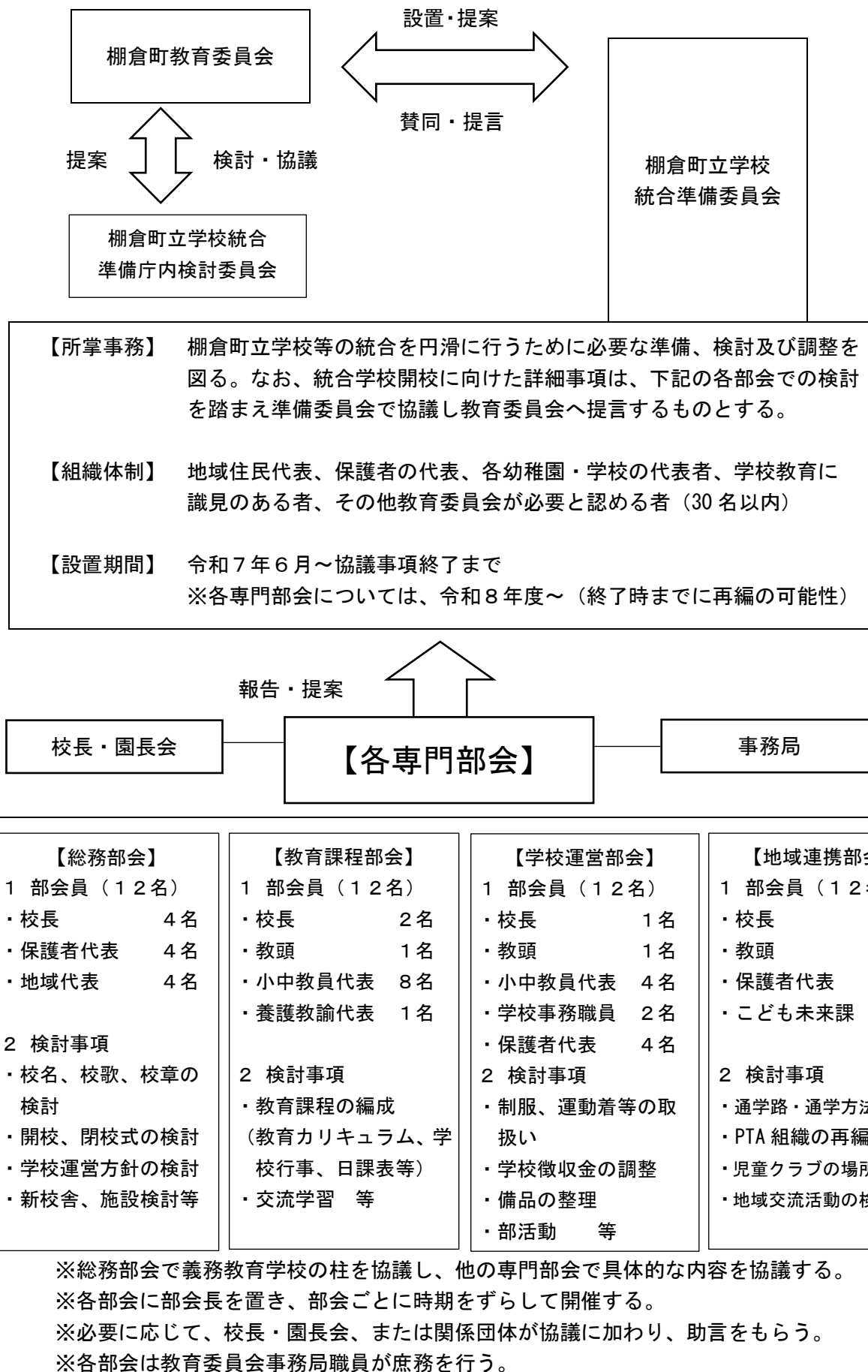
令和 10 年度 ・ 実施設計

令和 11～13 年度 ・ 校舎建設

令和 14 年度 義務教育学校 開校

町立学校統合に向けた組織図【修正案】

令和 8 年 8 月 2 8 日



町立学校統合準備各部会構成員(案)

R8.8.28

1【総務部会】

No.	部会職名	役職
1	部会長	町校長会長（社川小学校長）
2	副部会長	町PTA連合会長（棚中）
3	部会員	棚倉小学校長
4	部会員	近津小学校長
5	部会員	棚倉中学校長
6	部会員	棚倉小PTA会長
7	部会員	社川小PTA会長
8	部会員	近津小PTA会長
9	部会員	棚倉小学校学校運営協議会会長
10	部会員	社川小学校学校運営協議会会長
11	部会員	近津小学校学校運営協議会会長
12	部会員	棚倉中学校学校運営協議会会長

◎検討事項

1. 校名、校歌、校章の検討
2. 開校式、閉校式の検討
3. 学校運営方針の検討
4. 新校舎、施設の検討 等

2【教育課程部会】

No.	部会職名	役職
1	部会長	棚倉小学校長
2	副部会長	棚倉中学校教頭
3	部会員	社川小学校長
4	部会員	棚倉小学校教諭①
5	部会員	棚倉小学校教諭②
6	部会員	社川小学校教諭①
7	部会員	社川小学校教諭②
8	部会員	近津小学校教諭①
9	部会員	近津小学校教諭②
10	部会員	棚倉中学校教諭①
11	部会員	棚倉中学校教諭②
12	部会員	養護教諭代表（棚小）

◎検討事項

1. 教育課程の編成
（教育カリキュラム、学校行事、
日課表 等）
2. 交流学习の検討 等

3【学校運営部会】

No.	部会職名	役職
1	部会長	棚倉中学校長
2	副部会長	近津小学校教頭
3	部会員	棚倉小学校教諭
4	部会員	社川小学校教諭
5	部会員	近津小学校教諭
6	部会員	棚倉中学校教諭
7	部会員	社川小学校事務職員
8	部会員	棚倉中学校事務職員
9	部会員	保護者代表（棚小）
10	部会員	保護者代表（社川小）
11	部会員	保護者代表（近津小）
12	部会員	保護者代表（棚中）

◎検討事項

1. 制服・運動着等の取扱い
2. 学校徴収金の調整
3. 備品の整理
4. 部活動のあり方の検討 等

4【地域連携部会】

No.	部会職名	役職
1	部会長	近津小学校長
2	副部会長	棚倉小学校教頭
3	部会員	社川小学校教頭
4	部会員	子ども未来課職員
5	部会員	保護者代表（棚小①※棚倉）
6	部会員	保護者代表（棚小②※高野）
7	部会員	保護者代表（社川小①）
8	部会員	保護者代表（社川小②）
9	部会員	保護者代表（近津小①）
10	部会員	保護者代表（近津小②）
11	部会員	保護者代表（棚中①※棚倉）
12	部会員	保護者代表（棚中②※山岡）

◎検討事項

1. 通学路、通学方法の確認
2. P T A組織の再編
3. 児童クラブの場所の検討
4. 地域交流活動の検討 等

※各部会は教育委員会事務局職員が庶務を行う。また、必要に応じて校長・園長会の助言をもらう。

※保護者代表はP T A会長より委嘱された者

棚倉町義務教育学校 建設候補地選定方針

1. 義務教育学校を整備するのに十分な、まとまった広さを確保できる土地とする。
2. 公有地、公共的利用地または庁内検討により適切と判断した土地とする。
新規に土地を取得する場合には、まとまった平坦な土地を基本とする。
3. 都市計画区域内で役場を中心とする市街地からアクセスしやすい土地とする。
4. 既存各小中学校区からの登校距離に、できるだけ偏りが生じない土地とする。
5. 土砂災害・水害等の想定区域の土地は選定しない。
6. 義務教育学校を整備するための広さは 26,000 m²以上を目安とする。

(参考)

■候補地に必要な面積の目安

公立学校施設整備費補助金交付要綱をから算定

校舎用地	: 約 7,000 m ² (校舎必要面積 ÷ 3 階 × 離隔係数 2.0*)
屋内運動場用地	: 約 5,000 m ² (屋内運動場必要面積 × 離隔係数 2.0*)
屋外運動場用地	: 約 12,000 m ² (前期課程 150m、後期課程 200mトラック、100m 直走路を確保)
駐車場等用地	: 約 2,000 m ² (120 台、15 m ² /台 : 国交省「駐車場設計・施工指針について」)

* 必要面積の目安 : 校舎 約 11,000 m²、屋内運動場 : 約 2,500 m²

* 離隔係数 : 建物周囲の敷地境界線、他棟との離隔を確保し、アプローチ空間や建物の採光通風を確保するための面積を確保するために設定 (低学年の遊び庭等も含む)

* 駐車場台数は、職員用 70 台、来客用 50 台程度を想定

■参考：既存小中学校基礎データ（令和7年度 学校施設台帳ベース）

項目	01 棚倉小学校	02 社川小学校	03 近津小学校	04 棚倉中学校
敷地イメージ				
学校種別	小学校	小学校	小学校	中学校
学校名	棚倉町立 棚倉小学校	棚倉町立 社川小学校	棚倉町立 近津小学校	棚倉町立 棚倉中学校
所在地	棚倉町大字棚倉字北町118-1	棚倉町大字逆川字山梨子山19	棚倉町大字下山本字桃木田34	棚倉町大字棚倉字城跡88-5
児童生徒数	366(うち特支22) 人	113(うち特支6) 人	93 人	347(うち特支12) 人
学級数	12+特支5 CL	6+特支1 CL	6 CL	10+特支2 CL
校地面積合計 (保有+借用)	17,667 m ²	73,391 m ²	11,625 m ²	43,015 m ²
建物敷地+運動場	15,405 m ²	19,500 m ²	10,400 m ²	19,666 m ²
建物敷地	6,966 m ²	7,600 m ²	3,563 m ²	7,872 m ²
運動場	8,439 m ²	11,900 m ²	6,837 m ²	11,794 m ²
実験実習地その他	1,639 m ²	53,891 m ²	1,225 m ²	4,887 m ²
借用地	623 m ²			18,462 m ²
校舎面積	4,620 m ²	3,091 m ²	2,895 m ²	6,541 m ²
屋内運動場面積	1,266 m ²	1,265 m ²	999 m ²	1,298 m ²
主な校舎建築年度	S41～43 （築60年）	H9 （築29年）	S39～40 （築61年）	S47～48 （築54年）
屋内運動場建築年度	S56	H10	H3	S55
学校間最大距離	約3.7（約3.9） km	約6.3（約7.0） km	約6.3（約7.0） km	約3.5（約3.9） km
町役場距離	約0.7（約0.9） km	約2.7（約3.3） km	約3.6（約4.0） km	約0.3（約0.4） km
既存小中学校からの距離	棚倉小学校からの距離	棚倉小学校からの距離	棚倉小学校からの距離	棚倉小学校からの距離
※直線距離（経路距離）	社川小学校からの距離	社川小学校からの距離	社川小学校からの距離	社川小学校からの距離
	近津小学校からの距離	近津小学校からの距離	近津小学校からの距離	近津小学校からの距離
	棚倉中学校からの距離	棚倉中学校からの距離	棚倉中学校からの距離	棚倉中学校からの距離
備考	借地あり。 中心部に近いが、現況校地規模は棚倉中学校を下回る。	実験実習地その他が大きく、学校建設に一体利用できるかは別途確認が必要。	現況の建物敷地・運動場規模は4校中最小。	借地あり、継続利用又は取得可能性は確認が必要。 借地を含む現況校地は4ha超。 校地内に給食センターあり。

* 校地面積は学校施設台帳による。
* 距離は概数とし、直線距離（道路経路距離）で示す。道路経路距離は、各候補地から対象施設までの最短経路となる出入口を起点とする。

■候補地比較検討表

	【候補地1】旧棚倉高校跡地	【候補地2】ルネサンス棚倉	【候補地3】棚倉中学校	【候補地4】町内の平坦な土地
候補地現況 イメージ図				
所在地	大字棚倉字堂ノ前	大字関口字一本松	大字棚倉字城跡	大字流、大字棚倉字館ヶ丘
計画範囲面積	約38,758㎡	約45,516㎡	約41,903.26㎡（うち借地18,462㎡）	30,000㎡確保可能
用途地域	第一種中高層住居専用地域	用途地域指定なし	第一種住居地域	用途地域指定なし
敷地条件	高等学校跡地 敷地内主要段差約3m(旧建物敷地⇄旧ｸﾞﾗﾝﾄﾞ)※1	運動施設として利用中 敷地内主要段差約2m(多目的広場⇄馬場)	中学校敷地として利用中 借地あり、道路との接続部分に段差あり	複数の敷地、農地として利用中 主要敷地間段差あり
埋蔵文化財包蔵地	—	—	敷地の一部が「棚倉城跡／亀ヶ城」の埋蔵文化財包蔵地にかかる	—
造成の必要性	— (既存平坦地で施設配置可能)	— (既存平坦地で施設配置可能)	— (既存平坦地で施設配置可能)	敷地一体利用のために造成が必要
要解体施設	—	厩舎等	既存校舎・体育館	—
インフラ条件	電力：引込可能 上水道：引込可能 下水道：引込可能 ガス：プロパン対応	電力：引込済み 上水道：引込済み 下水道：なし ※合併処理浄化槽対応 ガス：プロパン対応	電力：引込済み 上水道：引込済み 下水道：引込済み ガス：プロパン対応	電力：引込可能 上水道：引込可能 下水道：なし。合併処理浄化槽対応 ガス：プロパン対応
既存小中学校からの距離 ※直線距離（経路距離）	棚倉小学校からの距離：約1.0km（約1.3km） 社川小学校からの距離：約3.6km（約4.1km） 近津小学校からの距離：約4.0km（約4.8km） 棚倉中学校からの距離：約0.7km（約1.0km）	棚倉小学校からの距離：約1.5km（約2.2km） 社川小学校からの距離：約2.8km（約4.0km） 近津小学校からの距離：約4.1km（約4.9km） 棚倉中学校からの距離：約1.3km（約1.7km）	棚倉小学校からの距離：約0.4km（約0.5km） 社川小学校からの距離：約3.5km（約4.1km） 近津小学校からの距離：約3.6km（約4.4km） 棚倉中学校からの距離：—	—
主要接続道路 （スケールパス経路検討）	新町日向前線（幅4.3m程度） 日向前後寺2号線（幅3.1m程度） 棚高堂ノ前線（幅3.3m程度）	ルネサンス棚倉線（幅10.5m程度）	宮下2号線（幅4m程度） 城跡中学校線（幅4m程度） 棚倉中学校線（幅4m程度）	館ヶ丘地内流地内 館ヶ丘崖ノ上線（幅7m程度） 磐城棚倉近津線（幅7.6m程度） 下山本中居線（幅6m程度）
主要施設までの距離 ※直線距離（経路距離）	棚倉町役場：約0.6km（約0.8km） 磐城棚倉駅：約0.9km（約1.2km） 棚倉町総合体育館：約1.6km（約2.1km） 棚倉警察署：約2.3km（約3.0km） 旧高野小学校：約2.6km（約3.3km）	棚倉町役場：約1.7km（約2.2km） 磐城棚倉駅：約1.2km（約1.7km） 棚倉町総合体育館：約0.5km（約0.7km） 棚倉警察署：約2.1km（約3.0km） 旧高野小学校：約4.5km（約5.8km）	棚倉町役場：約0.3km（約0.4km） 磐城棚倉駅：約0.6km（約0.8km） 棚倉町総合体育館：約1.0km（約1.3km） 棚倉警察署：約1.6km（約2.0km） 旧高野小学校：約3.1km（約4.0km）	—
備考 （メリット・デメリット）	・建設事業費 65億 ※外構除く ○ 現況を利用すれば造成費は少ない ○ 県からの補助制度あり、最大3億円 ○ 近くに歴史的資源（馬場神社）がある環境は貴重 × 用地取得が必要 × 118号側からの出入りに要注意、渋滞等の要因	・建設事業費 65億 ※外構除く ○ 現況を利用すれば造成費は少ない ○ 用地取得は不要 × 既存建物等の解体により、工事費・工程に影響 × アクセス道路が1本しかない。緊急時の対応に課題 × ルネサンス棚倉へ不特定多数の来客。防犯が不安 × ルネサンス棚倉への営業妨害の懸念。学校からの音（登校時や校内活動）や登下校時の来客者への影響。 × 部活動時の移動対応等に課題	・建設事業費 65億 ※外構除く ○ 現況を利用すれば造成費は少ない ○ 近くに歴史的資源（城跡、石垣）がある環境は貴重。 × 用地取得が必要 1.65億（現：借地8名、年額488万円） × 仮設校舎6.5～9.5億（最大4年）、校舎解体費2～3億 × 既存校舎等の解体により、工事費・工程に影響 × 仮設校舎を利用しながら工事するため、工事中の車両の出入を含む安全な動線計画は課題 × 仮設校舎の環境面で生徒、教員に負担が生じる	・建設事業費 65億 ※外構除く ○新規取得のため自由な形で検討可能。 ×造成費は最低3～4億は必要、農地のため地盤改良による経費増の可能性大。 切盛土による良質土購入、残土処分等が課題。 ×用地取得 1.5億、所有者の同意を得られるかが課題 ×農地転用が必要、工程に影響。

* 候補地1の敷地間の段差は、「20260703_受領_旧棚倉高校現況図」より概算値
* 候補地4・5の敷地間の段差は、たなまっぶで確認できる高低差の最大値
* 距離は概数とし、直線距離（道路経路距離）で示す。道路経路距離は、各候補地から対象施設までの最短経路となる出入口を起点とする。

○令和 8 年度 文科省補助基準額

新增築 350,800 円/㎡ (RC 造) ※予算説明用、都道府県別単価があるが非公表
 改修 約 210,000 円/㎡ ※新增築の約 6 割、長寿命化・大規模改造

○令和 7 年度資料 学校建設に係る単価 ※建築着工統計調査 (国交省、2025 時点)

- ・鉄筋コンクリート造 (RC) 520,000/㎡
- ・屋内運動場 → 鉄骨 400,000/㎡、鉄筋 420,000/㎡

※建設単価 (実勢価格) は増加傾向が続いており全国平均で年 6~7%程度増えている。

○補助基準に基づく必要面積 (R14 開校基準)

	学級数	校舎	屋内運動場
小学校	15	5,500 ㎡	1,300 ㎡
中学校	11	5,000 ㎡	1,300 ㎡
計	26	10,500 ㎡	2,600 ㎡

○校舎建設に係る概算経費 5,460,000 千円

小 5,500 ㎡×52 万円 (RC) = 2,860,000 千円
 中 5,000 ㎡×52 万円 (RC) = 2,600,000 千円

○屋内運動場建設に係る概算経費 1,040,000 千円

小 1,300 ㎡×40 万円 (S) = 520,000 千円
 中 1,300 ㎡×40 万円 (S) = 520,000 千円

○財源内訳

	事業費	補助金	起債	単費	備考
新 築	6,500,000 (4,595,480)	2,297,740	3,779,000	423,260	起債償還 20-30 年

○その他参考経費

- ・耐力度調査 (棚中の場合、要調査) 約 2 千 5 百万円
- ・空調設備設置 (体育館) 約 8 千万円
- ・仮設校舎整備 (4 年) 650,000 千円~950,000 千円
 生徒数 300 人、必要面積 1800 ㎡、2 階、教室 12、職員室、理科室等特別教室
 - a 設置費 250,000~350,000 千円
 - b リース費 150,000~200,000 千円 ※月 300-400 万円
 - c 設備工事費 150,000~250,000 千円
 - d 解体撤去 100,000~150,000 千円
- ・中学校校舎解体見込 (3 階建、RC)
 30-45 万/㎡ × 6,500 ㎡ = 195,000~292,500 千円